

令和4年度当初予算を可決

令和4年第1回定例会は、3月2日から25日までの24日間の会期で開かれ、全46議案を審議しました。一般質問は、会派制による代表質問が2会派（令和会・同土会）で行われ、そのあと9名の議員による個人質問が行われました。

25日の最終日には、各常任委員会および予算特別委員会の委員長より報告を受け、討論、採決を行い全議案について可決しました。また、議員発議が提出され、いずれも全会一致により原案可決されました。



▲代表質問（3月9日）

令和4年度の新規事業

新 高齢者ごみ出し支援事業

事業費 993千円

75歳以上の高齢者世帯等が排出した可燃ごみ等を対象世帯から収集し、所定のごみ集積所に運搬する活動に対し交付金を支給します。その際、対象世帯に安否確認のための声かけをすることで、安心して住むことができる環境を創出します。令和4年度は、小川・美野里・玉里各地区からそれぞれモデル地区を1行政区ずつ選定し、試験的に実施します。

新 新型コロナウイルス感染症予防助成事業

事業費 13,117千円

コロナ禍における公共施設等の利用者及び対応者に対して感染防止対策を講じることにより、市民が安心して施設を利用できる環境を整えます。また、PCR検査等を受けられる体制を整えます。



新 防災ハザードマップ改訂事業

事業費 8,528千円

国や県から公表されている最新の浸水想定区域を反映するほか、新たな避難発令基準や避難所での新型コロナウイルス感染症予防対策等を盛り込んだハザードマップを作成し、災害に対する備えや防災意識の向上を図ります。



新 不育症治療等助成事業

事業費 250千円

不育症検査費用の自己負担を軽減するため、保険対象外の不育症検査について、保険適用検査と併せて実施する場合に費用を助成します。助成額は、県助成額を控除した額について、1回の検査につき5万円を限度に上乗せして助成します。



一般会計当初予算 212 億円 対前年度比 10.8%減

【会計別予算】

会計別	令和4年度	令和3年度	増減率 (%)				
一般会計	212 億	237 億 7,800	△ 10.8				
特別会計	国民健康保険（事業）	52 億 4,007	51 億 1,691	2.4			
	後期高齢者医療保険	6 億 3,372	6 億 1,481	3.1			
	農業集落排水	3 億 2,203	3 億 2,348	△ 0.4			
	戸別浄化槽	4,281	3,667	16.8			
	霊園	3,882	1,495	159.6			
	介護保険（事業）	40 億 2,069	40 億 1,594	0.1			
	介護保険（サービス）	759	661	14.7			
	小計	315 億 573	339 億 737	△ 7.1			
	企業会計	水道	収益的	収入	8 億 4,440	8 億 5,330	△ 1.0
				支出	8 億 1,876	8 億 2,683	△ 1.0
資本的			収入	6 億 7,257	5 億 8,752	14.5	
			支出	9 億 8,143	8 億 8,401	11.0	
下水道		収益的	収入	12 億 1,904	12 億 3,047	△ 0.9	
			支出	11 億 7,266	11 億 1,237	5.4	
		資本的	収入	8 億 3,473	7 億 487	18.4	
			支出	12 億 1,289	11 億 6,630	4.0	
小計		収入	35 億 7,074	33 億 7,615	5.8		
		支出	41 億 8,574	39 億 8,951	4.9		
歳入（収入）計	350 億 7,647	372 億 8,352	△ 5.9				
歳出（支出）計	356 億 9,147	378 億 9,688	△ 5.8				

単位：万円



予算案の5つの基本目標

チエック

1 みんなの力で磨くまちづくり

- ・市民協働、コミュニティ活動の推進
- ・効率的な行財政の運営
- ・戦略的な定住、人口対策の推進 など

2 人を育てる学びの場づくり

- ・子ども、子育て支援の充実
- ・学校教育の充実
- ・スポーツの推進 など

3 誰もがいきいきと暮らせる社会づくり

- ・健康づくりの推進
- ・地域福祉、社会保障の充実
- ・障がい者福祉の充実 など

4 仕事と暮らしを創造する環境づくり

- ・計画的土地利用の推進
- ・道路体系、公共交通の充実
- ・茨城空港の利活用 など

5 安全・安心な生活を支える体制づくり

- ・上、下水道の整備
- ・防災対策の充実
- ・消防、救急体制の充実 など

【一般会計歳入】

